マンハッタンの二人の男（1958）

DEUX HOMMES DANS MANHATTAN

メディア 映画
ジャンル 犯罪　ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 84分
初公開日 1990/01/03
公開情報 ケイブルホーグ

【解説】

ゴダールの「勝手にしやがれ」は、本作のメルヴィル自身によるゲリラ的ＮＹロケの夜間シーンに刺激されて作られたーーと言われる。“ヌーヴェル・ヴァーグの先駆け”という呼び方はメルヴィルの圧倒的個性に対し失礼に当たる気がするが、ジャック・ベッケルと共にそう呼び慣わされる異才の、ムーディかつ軽快なサスペンスの傑作だ。ニューヨークの国連本部本会議に出席しているはずの仏代表ベルティエの不在を怪しんだジャーナリスト（メルヴィル自演）は、相棒のカメラマンと共に行方を追い、彼が愛人の女優の部屋で急死した事実をつき止める。レジスタンスの英雄だったベルティエの名誉を守ろうと、スキャンダルを闇に葬ろうとするが、相棒はそれで政府を揺すろうと企む……。自身レジスタンスに参加していたメルヴィルの抵抗運動に対する敬意と誇りが読み取れる内容で、気怠いマンハッタンの夜を徘徊する男たちをノワール的に捉え、Ｍ・ソラル（「勝手にしやがれ」の音楽も担当した）のモダン・ジャズの演奏も単なる装飾に終わっていず、映画のスリルを高めている。

【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
製作	フロランス・メルヴィル	
	レオモンド・ブロンディ	
脚本	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
撮影	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
	ニコラ・エイエ	Nicolas Hayer
音楽	クリスチャン・シュヴァリエ	Christian Chevallier
	マルシャル・ソラル	Martial Solal
出演	ピエール・グラッセ	Pierre Grasset
	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
	クリスティアーヌ・ウード	Christiane Eudes
	アレクサンドラ・スチュワルト	Alexandra Stewart

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.